

紹介

□日本水彩畫會研究所生徒及關係者にして、本年の太平洋畫會へ出品されし人は左の如し。

沼田喜雨太郎、夏月七策、奥村熊四郎
竹内久子、望月省三、松山忠三、吉崎勝、岡田武彦、後藤工志、赤城泰舒、武田芳雄、尾崎定次、相田寅彦、篠原新三、八木定祐、瀧澤靜雄、水野以文、中林儼、長谷川曾一、鈴木一治、寺田季一、吉田豊、渡邊六郎
以上二十三氏にして出品點數は八十五の多きに達したり

□本會に向つて書物の取次を求めらるゝ方あり、出来るだけ讀者讀君の御便利を圖りたけれど、何分無人にて迅速に運びかこし、それ故取次等は御斷りいたす。

□本號は定價より倍額になりし故。特別讀者諸君は、其不足だけ御序のせつ御拂込を願ひたし。

◎日本教育文庫 女訓篇、全學校篇

神田區表神保町二 同文館

菊判クロース本綴八百頁、

正價各金貳圓

前者は日本古代より徳川時代に至るあらゆる女訓を集録せしものにして、乳母の文をはじめ、處女賦、唐錦、其他教訓に兼ねに名文章をも藏めたり。學校篇は、同じく維新以前諸學塾の規則及文訓童子訓等あり。女訓篇は女子を持てる一般家庭に備へて有益なるべく、學校篇は教育の任にある人には好參考品たるべし。

◎新日本畫譜 下卷 石井柏亭筆

小石川區小向臺町三丁目 方寸社

菊新形 定價七十錢

本卷には五十七圖を收めたり、花鳥山水とりづくに面白し、其の内特に構圖の上に注意を惹きしは『犬』『鶏と葱』『百合と桔梗』『山中湖畔』『湖上の菊』『川口湖』『尾久の渡し』等にして、それ等の構圖は到底他の日本畫家の思ひも及はざるものあらん。

◎第九回太平洋畫會展覽會カタログ

本所區眞砂町三十八番地

高尙堂

六六版のハイカラ仕立にしてコロタイプ刷四十枚のうち水彩畫十四葉あり何れも鮮明にして原畫の面影を想見するに難からず(定價六十錢)

本誌讀者諸君より、本會に向つて水彩畫に要する材料取次販賣を請求せらるゝ事これ迄數十回に及べど、多忙のため御斷り申上て置た。然るに、今回北山清太郎氏は、地方修業者の便利を圖るため、學業の餘暇に、其仕事をやつて見やうといふ。取次といふことは、其實甚だ面倒だから、北山氏には御氣の毒だが、地方の人には便利であらう、そして繪具や紙ばかりでなく、美術に關したあらゆる方面の用達をもしてくれらるゝの事である。北山氏は、青年に珍らしき常識の發達した人であるから、依頼者には必ず満足を興ふると思ふ、安心して御注文なさい、詳細は廣告を御覽あれ。